

# 函館市地域包括支援センターゆのかわ

(地域包括支援センター運営業務)

令和6年度（2024年度）活動評価

令和7年度（2025年度）活動計画

東央部第1圏域



# 目次

1. 圏域の現状と課題	・・・	1
2. 重点活動	・・・	3
3. 令和6年度活動評価および令和7年度活動計画		
ア 地域包括支援センターの運営	・・・	4
(ア) 総合相談支援業務	・・・	4
(イ) 権利擁護業務	・・・	16
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	20
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	24
イ 生活支援体制整備事業	・・・	32
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	32
ウ 認知症総合支援事業	・・・	36
(ア) 認知症初期集中支援推進事業	・・・	36
(イ) 認知症地域支援・ケア向上事業	・・・	36

# 圏域の現状と課題

## 1. 人口の推移と年齢構成

(人)

	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R6.3	R6.9	割合	全市
年少人口	2,749	2,695	2,625	2,577	2,492	2,424	8.7%	8.6%
生産年齢人口	15,410	15,144	14,992	14,830	14,548	14,560	52.1%	54.1%
高齢人口	11,048	11,108	11,098	10,988	10,946	10,945	39.2%	37.2%
65～74歳	5,113	5,172	5,108	4,852	4,655	4,587	16.4%	16.1%
75歳以上	5,935	5,936	5,990	6,136	6,261	6,358	22.8%	21.2%

## 2. 世帯構成 (R6.9)

(世帯)

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	5,075	30.1%	26.9%
高齢者複数世帯	2,116	12.5%	13.0%
その他	9,693	57.4%	60.1%

## 3. 事業対象者・要支援認定者の状況

(人)

	R5.9	R6.9	全市
認定者数	1,005	1,037	7,582
認定率	9.1%	9.5%	8.6%
給付実績	687	646	4,409
給付率	6.3%	5.9%	5.0%

## 4. 介護保険サービス事業所数 (R6.9)

(件)

	事業所数
居宅介護支援等 (※1)	15
地域密着型サービス (※2)	19

※1 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所

※2 地域密着型サービス事業所 (小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護を除く)

## 5. 日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づく地域課題

優先順位	地域の問題	問題が生じている要因	地域課題
1	IT化に対応できないことで、閉じこもりや意欲低下が進む高齢者が増えている可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居高齢者の増加。</li> <li>・買物や移動の際にIT使用が必要な場合が増えている。</li> <li>・公的情報を得るためにスマートフォンの操作が必要だが、高齢者は操作ができず活用が困難。</li> <li>・免許を返納し、公共交通機関の利用が必要だが、スマートフォンで乗り継ぎ等を調べることができない。</li> </ul>	高齢者が生活環境に必要なIT知識を得ることにより、社会参加につながる。
2	集合住宅に住む住民の高齢化によって、集合住宅での役割や環境に合わせた生活が難しい高齢者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅の住民の高齢化。</li> <li>・高齢化による身体機能の低下。</li> <li>・エレベーターがない集合住宅がある。</li> <li>・集合住宅で割り当てられる役割に高齢者では対応が難しいものがある。</li> </ul>	集合住宅に住む高齢者が、身体機能低下予防や協力体制を整えることにより、現在の生活を継続することができる。
3	高齢者に関わる地域関係者の知識や対応力に差があり、高齢者支援に差が生じている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会関係者の高齢化、担い手不足。</li> <li>・町会役員や民生児童委員(以下、「民生委員」という。)の後任者が知識や経験を積む機会が少ない。</li> <li>・認知症に対する理解や対応に差がある。</li> </ul>	高齢者に関わる地域関係者が正しい知識を持つことにより、適切な支援につながる。
4	身寄りのない高齢者は緊急時に判断できる人が少なく、不利益が生じる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と疎遠等で緊急連絡先を把握できていない高齢者の増加。</li> <li>・病院搬送時や入院時に判断する人がいない。</li> </ul>	本人や高齢者に関わる人が早期に必要な知識を得ることにより、今後に備えることができる。

## 重点活動

番号	地域課題	各業務での取組
1	高齢者が生活環境に必要なIT知識を得ることにより、社会参加につながる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関（運転免許試験場等）と連携し、状況の確認を行う。</li> <li>・ 高齢者が自力で対応できるよう、必要な社会資源の周知や講座（スマートフォンの使い方・バスの乗り方等）を開催し、学習の場を持つ。</li> </ul>
2	集合住宅に住む高齢者が、身体機能低下予防や協力体制を整えることにより、現在の生活を継続することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域（集合住宅）のニーズや起こりうる問題を把握する。</li> <li>・ 自治会長等住民の変化に合わせたルールの見直しの必要性を検討できるようアプローチする。</li> <li>・ ニーズに合わせた体操講座を開催し、介護予防を図る。</li> </ul>
3	高齢者に関わる地域関係者が正しい知識を持つことにより、適切な支援につながる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者に関わる関係機関に広報紙を継続的に持参し、図書館地域包括支援センター（以下、「センター」という。）の役割機能を周知する。</li> <li>・ 各関係機関と協働し、効果的な地域活動ができるよう、企画や助言フォローを行う。</li> <li>・ 認知症についての正しい知識を多世代へ広く周知する。</li> </ul>
4	本人や高齢者に関わる人が早期に必要な知識を得ることにより、今後に備えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人や高齢者に関わる人が早期に制度（成年後見制度等）を知ることができるよう出前講座を行い、周知を図る。</li> <li>・ 必要な社会資源について情報提供を行い、効果的に活用できるよう整理する。</li> <li>・ 緊急時の連絡体制について各関係機関と意見交換を行う。</li> </ul>

# 令和6年度活動評価および令和7年度活動計画

## ア 地域包括支援センターの運営

### (ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第1号

【目的】地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価																																																																							
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																																						
総合相談 支援業務	○総合相談対応件数 <span style="float: right;">(件)</span>																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td style="text-align: center;">1356</td> <td style="text-align: center;">1446</td> <td style="text-align: center;">1458</td> </tr> <tr> <td>延件数</td> <td style="text-align: center;">1784</td> <td style="text-align: center;">1892</td> <td style="text-align: center;">1951</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R5年度	R6年度	実件数	1356	1446	1458	延件数	1784	1892	1951	<p><b>【活動目標】</b> 1、地域住民が必要な支援を適切に受けることができる。</p> <p><b>【評価】</b> ①達成状況 達成 ②実施状況 ・相談受理時はセンター内ミーティングにて共有し、適宜調整を行っている。 ・再相談待ちの判断に差異あり。相談内容に応じ、待ちの期間を明確にする等、対応方法を検討し、支援が途切れないようにする必要がある。 ・認知症に関する相談時には認知症ケアパスを活用し、相談対応を行っている。 ・生活環境に必要なIT機器等を活用できなく、不便を感じての相談も増えている。 ・土曜祝日の開所に関しては、就労しているご家族に合わせ柔軟に対応できている。</p> <p>③今後の方針： ・目標は達成はしたが、引き続き継続的な取り組みの必要性があるため、次年度も継続する。</p> <p><b>【活動目標】</b> 2、高齢者に接する人が、センターの役割や機能を知り、相談することができる。</p> <p><b>【評価】</b> ①達成状況 達成 ②実施状況 ・民生委員や地域関係者からは継続的に相談が入っており、これまで相談が無かった金融機関からも相談が入り支援につながった。 ・継続的に行っている広報活動によるセンターの役割や機能の周知が浸透し、相談につながっていると考える。</p> <p>③今後の方針 ・各関係機関への広報が有効と思われることから継続的な広報活動を行い、早期相談につながるケースが増えるよう取り組んでいく。 ・相談する機関が増えてきていることから、高齢者に関わる人が正しい知識をもつことで適切な支援につながるよう出前講座等を開催し、必要な情報を伝えていけるよう取り組んでいく。</p>																																																										
		R4年度	R5年度	R6年度																																																																				
	実件数	1356	1446	1458																																																																				
	延件数	1784	1892	1951																																																																				
	○相談形態内訳（延） <span style="float: right;">(件)</span>																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td style="text-align: center;">952</td> <td style="text-align: center;">958</td> <td style="text-align: center;">984</td> </tr> <tr> <td>来所相談</td> <td style="text-align: center;">143</td> <td style="text-align: center;">159</td> <td style="text-align: center;">150</td> </tr> <tr> <td>訪問相談</td> <td style="text-align: center;">671</td> <td style="text-align: center;">746</td> <td style="text-align: center;">822</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R5年度	R6年度	電話相談	952	958	984	来所相談	143	159	150		訪問相談	671	746	822	その他	18	29	27																																																		
		R4年度	R5年度	R6年度																																																																				
	電話相談	952	958	984																																																																				
	来所相談	143	159	150																																																																				
	訪問相談	671	746	822																																																																				
	その他	18	29	27																																																																				
	○相談者の続柄内訳（延・重複あり） <span style="float: right;">(件)</span>																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td style="text-align: center;">930</td> <td style="text-align: center;">1003</td> <td style="text-align: center;">1080</td> </tr> <tr> <td>家族親族</td> <td style="text-align: center;">650</td> <td style="text-align: center;">747</td> <td style="text-align: center;">787</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>町会・在宅福祉委員</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> <tr> <td>知人・近隣住民</td> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">43</td> </tr> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td style="text-align: center;">190</td> <td style="text-align: center;">209</td> <td style="text-align: center;">226</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所職員</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td style="text-align: center;">141</td> <td style="text-align: center;">136</td> <td style="text-align: center;">146</td> </tr> <tr> <td>行政機関職員</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> <tr> <td>警察・消防署職員</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>民間企業</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">銀行</th> <th style="width: 15%;">郵便局</th> <th style="width: 15%;">美容室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">※「○」広報紙配布先</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     (その他内訳)                      ・他圏域包括支援センター                      ・障害者生活支援センターぱすてる                      ・相談支援事業所笑福                      ・函館地域生活支援センター                      ・住宅公社                      ・シルバーハウジング                 </td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R5年度	R6年度	本人	930	1003	1080	家族親族	650	747	787		民生委員	45	38	33	町会・在宅福祉委員	19	20	32	知人・近隣住民	55	56	43	介護支援専門員	190	209	226	介護保険事業所職員	37	26	26	医療機関	141	136	146	行政機関職員	39	43	37	警察・消防署職員	35	17	19	民間企業	32	16	40	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">銀行</th> <th style="width: 15%;">郵便局</th> <th style="width: 15%;">美容室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>		銀行	郵便局	美容室	○	○	○	○	○	○	20	16	21	※「○」広報紙配布先				(その他内訳) ・他圏域包括支援センター ・障害者生活支援センターぱすてる ・相談支援事業所笑福 ・函館地域生活支援センター ・住宅公社 ・シルバーハウジング			
		R4年度	R5年度	R6年度																																																																				
	本人	930	1003	1080																																																																				
	家族親族	650	747	787																																																																				
	民生委員	45	38	33																																																																				
	町会・在宅福祉委員	19	20	32																																																																				
	知人・近隣住民	55	56	43																																																																				
	介護支援専門員	190	209	226																																																																				
	介護保険事業所職員	37	26	26																																																																				
	医療機関	141	136	146																																																																				
	行政機関職員	39	43	37																																																																				
	警察・消防署職員	35	17	19																																																																				
民間企業	32	16	40																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">銀行</th> <th style="width: 15%;">郵便局</th> <th style="width: 15%;">美容室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>		銀行	郵便局	美容室	○	○	○	○	○	○	20	16	21																																																											
			銀行	郵便局	美容室																																																																			
			○	○	○																																																																			
○	○		○																																																																					
※「○」広報紙配布先																																																																								
(その他内訳) ・他圏域包括支援センター ・障害者生活支援センターぱすてる ・相談支援事業所笑福 ・函館地域生活支援センター ・住宅公社 ・シルバーハウジング																																																																								



令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
1、地域住民が必要な支援を適切に受けることができる。	1、 ①相談内容に応じて適切な情報提供や提案をする。 ②緊急対応が必要なケースについては、センター内で情報を共有し対応する。 ③相談者からの連絡を待つケースは、ケースごとに期間を決めて確認する。 ④各職員がスキルに合わせた研修会に参加する。 ⑤適宜ニーズにあわせて、社会資源の情報提供や提案を行う。 (住まい、介護予防、セルフマネジメント、認知症ケアパス、IT機器の操作方法等)	・相談対応件数 ・相談形態内訳 ・相談者の続柄内訳 ・相談内容内訳 ・セルフマネジメント支援実施件数 ・研修参加数
2、センターの役割や機能について、正しく理解している地域関係者が増える。	2、 ①広報紙を活用し、センターの役割や機能の周知を行う。 ②地域密着型運営推進会議参加時等は意見交換の時間をもち、センターの役割周知に努める。 ③地域の関係者に向けた出前講座（認知症、成年後見制度等）についての情報提供を行う。	・広報紙配布先数 ・広報紙新規配布先 ・広報紙掲載内容 ・出前講座回数 ・出前講座内容 ・地域密着型運営推進会議出席数 ・配布時におけるネットワーク構築数

(ア) 総合相談支援業務

		令和6年度 活動評価				
事業内容		実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価	
総合相談 支援業務	○相談内容内訳（延・重複あり）	(件)				<b>【活動目標】</b> 3、交流の少ない高齢者が相談窓口としてセンターを知ることができる。 <b>【評価】</b> ①達成状況 達成 ②実施状況 ・見守り訪問時は広報紙を活用し、センターの説明を行った。 ・クリニックの他、総合病院（6箇所）を利用する方々に手に取っていただけるよう広報紙設置の依頼を行った。 ・センターを知ったきっかけとして、病院や知人、民生委員からの紹介が多いが、広報紙や出前講座から相談に繋がったケースも増える。 ・SNSでの情報発信の検討を行い、活用に向けて土台作りを行った。 ③今後の方針 ・広報紙の掲示や設置は周囲と関わりが少ない高齢者や家族にとっても目に留まる有効的な手段になっていることから、今後も継続していく。 ・SNSでの発信を行うことで、更に幅広く周知できるように取り組んでいく。
			R4年度	R5年度	R6年度	
		介護保険・総合事業	1274	1416	1430	
		保健福祉サービス	220	170	220	
		介護予防	7	7	1	
		心身の健康	70	85	68	
		認知症	63	80	102	
		住まい	87	111	112	
		権利擁護	17	17	15	
		安否確認	18	10	24	
	その他	93	100	171		
	(その他内容内訳一部抜粋)					
	・気になる高齢者に関する情報提供					
	・センターで関わりがあるかの問い合わせ					
	・近隣トラブル					
	・社会資源の情報提供希望					
	・死後の相談					
	・入所施設の対応					
	・金銭管理					
	・各種書類の申請の問い合わせ					
	・日常生活の問い合わせ					
	・家族の連絡先に対する問い合わせ					
	○セルフマネジメント支援数	(件)				
		R4年度	R5年度	R6年度		
	セルフマネジメント支援	21	5	7		
	提案のみ	12	7	3		
	(提案のみで終了した理由)					
	・いろいろ忙しくしているので手帳は不要					
	・年なので面倒だ					
	・面倒だし自分のことは自分で考えているので不要					

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
3、交流の少ない高齢者が相談窓口としてセンターを知ることができる。	3、 ①見守りネットワーク事業を活用し、実態把握に努める。 ②高齢者の立ち寄り先への広報紙の配布を継続する。 ③高齢者の立ち寄り先や関係機関に対し、広報紙の掲示を依頼する。 ④SNSでセンターの周知を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本情報作成数</li> <li>・ 広報紙掲載内容</li> <li>・ 配布時におけるネットワーク構築数</li> <li>・ センターを知ったきっかけ</li> <li>・ SNSでの投稿の有無</li> </ul>

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和6年度 活動評価																																																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																											
<p>○研修会参加状況</p> <p style="text-align: right;">(回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>権利擁護業務に関する研修</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター職員研修</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>高齢者以外に関する研修</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>(その他内容内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント関係：9件</li> <li>・認知症関係：3件</li> <li>・多職種関係：2件</li> <li>・介護保険制度関係：1件</li> <li>・その他：16件</li> </ul> <p>○運営推進会議参加状況（延参加回数、参加事業所数）</p> <p style="text-align: right;">(回、事業所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症対応型共同生活介護 圏域内7事業所</td> <td>1(1)</td> <td>6(4)</td> <td>28(6)</td> </tr> <tr> <td>地域密着型通所介護 圏域内8事業所</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>1(1)</td> </tr> <tr> <td>介護付き有料老人ホーム 圏域内4事業所</td> <td>0(0)</td> <td>5(2)</td> <td>12(4)</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護 圏域内3事業所</td> <td>0(0)</td> <td>2(1)</td> <td>1(3)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1(1)</td> <td>13(7)</td> <td>42(14)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※合同開催の事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護付き有料老人ホームあい日吉・小規模多機能ハウスあい日吉</li> <li>・グッドタイムホーム日吉壱番館・日吉弐番館</li> </ul> <p>○広報紙発行（年2回/7月、2月）</p> <p style="text-align: right;">(件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布先数</td> <td>878</td> <td>916</td> <td>939</td> </tr> <tr> <td>掲示依頼数</td> <td>174</td> <td>185</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>新規配布先数</td> <td>33</td> <td>11</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新規配布先)</p> <p>※高齢者と関わりの少ない機関</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援事業所：3事業所</li> <li>・就労継続支援事業所A型：4事業所</li> <li>・就労継続支援事業所B型：17事業所</li> </ul> <p>※高齢者に関係のある機関</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業：サンキ湯川店、文教堂湯ノ川店、グラスイズムコープさっぽろ湯川店、はこだて柳屋コープさっぽろ湯の川店、レフボン湯川店、DAISOコープさっぽろ函館湯川店、アスピーファム湯川店、高齢者専用賃貸マンションリベラ</li> <li>・薬局：東洋薬局</li> </ul>		R4年度	R5年度	R6年度	権利擁護業務に関する研修	5	1	6	地域包括支援センター職員研修	2	6	6	高齢者以外に関する研修	0	1	1	その他	8	13	31		R4年度	R5年度	R6年度	認知症対応型共同生活介護 圏域内7事業所	1(1)	6(4)	28(6)	地域密着型通所介護 圏域内8事業所	0(0)	0(0)	1(1)	介護付き有料老人ホーム 圏域内4事業所	0(0)	5(2)	12(4)	小規模多機能型居宅介護 圏域内3事業所	0(0)	2(1)	1(3)	合計	1(1)	13(7)	42(14)		R4年度	R5年度	R6年度	配布先数	878	916	939	掲示依頼数	174	185	182	新規配布先数	33	11	33	
	R4年度	R5年度	R6年度																																																										
権利擁護業務に関する研修	5	1	6																																																										
地域包括支援センター職員研修	2	6	6																																																										
高齢者以外に関する研修	0	1	1																																																										
その他	8	13	31																																																										
	R4年度	R5年度	R6年度																																																										
認知症対応型共同生活介護 圏域内7事業所	1(1)	6(4)	28(6)																																																										
地域密着型通所介護 圏域内8事業所	0(0)	0(0)	1(1)																																																										
介護付き有料老人ホーム 圏域内4事業所	0(0)	5(2)	12(4)																																																										
小規模多機能型居宅介護 圏域内3事業所	0(0)	2(1)	1(3)																																																										
合計	1(1)	13(7)	42(14)																																																										
	R4年度	R5年度	R6年度																																																										
配布先数	878	916	939																																																										
掲示依頼数	174	185	182																																																										
新規配布先数	33	11	33																																																										

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標

(ア) 総合相談支援業務

事業内容	令和6年度 活動評価																																																																																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価																																																																															
総合相談 支援業務	○出前講座回数、内容 (回)																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座回数</td> <td>24</td> <td>40</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>センターについて</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>介護保険制度</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>新しい総合事業</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>在宅高齢者等サービス</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>住宅改修</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>権利擁護</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>虐待</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>成年後見</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>地域ケア会議</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>介護予防</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>地域での見守り活動</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>地域の社会資源</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>相談シート</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域包括ケアシステム</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>住民主体の助け合い</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> <td>24</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R5年度	R6年度	出前講座回数	24	40	51	センターについて	18	22	29	介護保険制度	10	15	12	新しい総合事業	12	7	6	在宅高齢者等サービス	2	0	3	住宅改修	1	3	2	権利擁護	2	6	7	虐待	1	7	7	消費者被害	1	2	1	成年後見	0	2	2	地域ケア会議	1	0	2	介護予防	11	7	22	認知症	9	8	13	地域での見守り活動	11	2	19	地域の社会資源	2	1	0	相談シート	0	0		地域包括ケアシステム			2	住民主体の助け合い	12	15	14	その他	7	24	33	
	R4年度	R5年度	R6年度																																																																															
出前講座回数	24	40	51																																																																															
センターについて	18	22	29																																																																															
介護保険制度	10	15	12																																																																															
新しい総合事業	12	7	6																																																																															
在宅高齢者等サービス	2	0	3																																																																															
住宅改修	1	3	2																																																																															
権利擁護	2	6	7																																																																															
虐待	1	7	7																																																																															
消費者被害	1	2	1																																																																															
成年後見	0	2	2																																																																															
地域ケア会議	1	0	2																																																																															
介護予防	11	7	22																																																																															
認知症	9	8	13																																																																															
地域での見守り活動	11	2	19																																																																															
地域の社会資源	2	1	0																																																																															
相談シート	0	0																																																																																
地域包括ケアシステム			2																																																																															
住民主体の助け合い	12	15	14																																																																															
その他	7	24	33																																																																															
	<p>(その他内訳一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者疑似体験</li> <li>・体調管理について</li> <li>・冬に起きやすいケガと予防</li> <li>・血管管理（血管年齢測定）</li> <li>・医療保険制度、生活保護制度について</li> <li>・地域と学校の連携</li> <li>・多職種連携</li> <li>・地域連携における介護支援専門員</li> </ul>																																																																																	
	○対象者別出前講座実施件数（延） (件)																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般市民</td> <td>5</td> <td>26</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>町会役員</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R5年度	R6年度	一般市民	5	26	29	民生委員	1	1	1	町会役員	0	1	1	在宅福祉委員	2	8	9	その他	21	30	30																																																									
	R4年度	R5年度	R6年度																																																																															
一般市民	5	26	29																																																																															
民生委員	1	1	1																																																																															
町会役員	0	1	1																																																																															
在宅福祉委員	2	8	9																																																																															
その他	21	30	30																																																																															
	<p>(その他の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リード不動産</li> <li>・看護学校学生</li> <li>・小学校児童</li> <li>・函館市老人クラブ連合会</li> <li>・函館市地域コーディネーター</li> <li>・教育委員会</li> <li>・函館市町会連合会</li> </ul>																																																																																	

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標

事業内容		令和6年度 活動評価			
		実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価	
総合相談 支援業務	○利用者基本情報作成状況	(件・人・%)			
		R4年度	R5年度	R6年度	
	目標数値	1015	941	922	
	作成数	予防給付	378	415	360
		うち新規	64	69	44
		見守り	114	162	200
		うち新規	71	87	105
		その他	378	457	527
		うち新規	159	204	243
	合計(A)	870	1034	1087	
	うち新規	294	360	392	
	高齢者人口(B)	10,988	10946	10922	
	実態把握率 (A/B)	7.9%	9.4%	10.0%	
	○65歳以上の同居家族の実態把握数	(件、%)			
	(同居世帯数に対する同居家族の実態把握率)	R4年度	R5年度	R6年度	
同居家族の実態把握		44(10.8)	46(10.6)		
○町別実態把握数（町別老年人口に対する実態把握率）	(件、%)				
	R4年度	R5年度	R6年度		
深堀町	※179(10.2)	140(8.0)	※229(13.1)		
駒場町	※64(10.3)	44(7.0)	45(7.4)		
湯浜町	67(7.8)	※110(12.7)	70(8.4)		
湯川町1丁目	63(8.1)	※82(10.9)	52(6.8)		
湯川町2丁目	56(6.8)	※106(13.1)	67(8.6)		
湯川町3丁目	73(7.6)	※140(14.6)	87(9.0)		
花園町	※114(9.6)	※139(11.9)	101(8.7)		
日吉町1丁目	43(7.0)	40(6.6)	※67(11.1)		
日吉町2丁目	55(5.6)	73(7.4)	※117(11.7)		
日吉町3丁目	81(6.7)	86(7.1)	※153(12.5)		
日吉町4丁目	34(4.7)	38(5.1)	※74(9.8)		
川原町	※44(9.2)	36(7.6)	32(6.7)		
	※見守り訪問対象地区				
	<b>【活動目標】</b> 1、支援を必要とする人が早期に適切な支援につながる事ができる。 <b>【評価】</b> ①達成状況 達成 ②実施状況 ・訪問時は同居家族の実態把握についても職員が意識し、取り組むことができている。 ・見守り訪問時は事業の意図を理解し、必要な情報の収集に努めているが、職員によってはらつきがある。 ③今後の方向性 ・見守りネットワーク事業で訪問の際に得た情報に関して、支援が切れないよう事前に情報共有を行った民生委員へのフィードバックの方法の見直しについて行う。 ・面談時に、緊急連絡先など家族の情報や他者との関わり状況等を正しく聞き取ることで、今後の備えとして統一した対応ができるよう取り組んでいく。				

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>1、支援を必要とする人が相談窓口につながり、適切な支援を受けることができる。</p>	<p>1、                      ①対象者の生活実態や課題等を広く把握するために、同居する家族等の実態把握を行う。                      ②見守りネットワーク事業にて実態把握に努める。                      ③見守りネットワーク事業にて得た情報は民生委員へフィードバックを行う。                      ④高齢者の立ち寄り先への広報紙の配布を継続する。                      ⑤高齢者の立ち寄り先や関係機関に対し、広報紙の掲示を依頼する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報作成数</li> <li>・目標数値達成率</li> <li>・利用者基本情報作成の内訳</li> <li>・実態把握後支援につながった件数</li> <li>・同居家族の実態把握数</li> <li>・町別実態把握数</li> <li>・広報紙配布時の関係機関との意見交換数</li> <li>・関係機関へのラミネート広報紙掲示数</li> <li>・センターを知ったきっかけ</li> </ul>

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和5年度 活動評価																									
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																								
実態把握	<p>○実態把握から支援につながったケース ・見守り訪問</p> <table border="1"> <caption>見守り訪問実績</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実態把握のみ件 (※支援の必要性なし)</td> <td>130</td> <td>100</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>制度説明件</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>介護サービス件</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>在宅高齢者等サービス件</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他件</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R4	R5	R6	実態把握のみ件 (※支援の必要性なし)	130	100	140	制度説明件	10	30	20	介護サービス件	5	15	10	在宅高齢者等サービス件	2	5	3	その他件	10	15	12	
	Category	R4	R5	R6																						
	実態把握のみ件 (※支援の必要性なし)	130	100	140																						
制度説明件	10	30	20																							
介護サービス件	5	15	10																							
在宅高齢者等サービス件	2	5	3																							
その他件	10	15	12																							
<p>・予防支援、見守り以外の訪問</p> <table border="1"> <caption>予防支援、見守り以外の訪問実績</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実態把握のみ件 (※支援の必要性なし)</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>制度説明件</td> <td>40</td> <td>50</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>介護サービス件</td> <td>180</td> <td>210</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>在宅高齢者等サービス件</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>その他件</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	Category	R4	R5	R6	実態把握のみ件 (※支援の必要性なし)	70	60	80	制度説明件	40	50	45	介護サービス件	180	210	250	在宅高齢者等サービス件	60	70	75	その他件	30	40	45		
Category	R4	R5	R6																							
実態把握のみ件 (※支援の必要性なし)	70	60	80																							
制度説明件	40	50	45																							
介護サービス件	180	210	250																							
在宅高齢者等サービス件	60	70	75																							
その他件	30	40	45																							
<p>( その他内訳内容 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待疑い</li> <li>・ケアマネジャーへの支援</li> <li>・専門医受診調整</li> <li>・個別ケア会議実施</li> <li>・施設、住まいの相談</li> <li>・弁護士へのつなぎ</li> <li>・DV</li> </ul>																										

令和6年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第2号

【目的】高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価			
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価
権利擁護業務	○権利擁護相談対応状況 (件)			
		R4年度	R5年度	R6年度
	ケース数（実）	17	15	11
	終結数	6	7	2
	終結率	35.3%	46.7%	18.2%
	○研修会・事例検討会の参加 (回)			
		R4年度	R5年度	R6年度
	高齢者虐待	2	4	2
	困難事例	2	0	0
	消費者被害・成年後見	0	1	3
	○センター内研修会（2回実施）			
	①住居確保給付金、虐待防止、カスタマーハラスメント			
	②支援困難事例の振り返り			
	○自立相談支援機関との連携支援ケース数 15件			
	○相談者、通報者内訳（実・重複あり） (件)			
	R4年度	R5年度	R6年度	
対象者本人	1	4	0	
家族・親族	3	4	4	
町会・在宅福祉委員	1	0	0	
知人・近隣住民	1	0	1	
介護支援専門員	7	3	3	
介護職員	0	1	0	
病院	2	2	1	
行政	0	0	0	
警察・消防	1	1	1	
その他（民生委員含む）	1	0	1	
○対応事案内訳（実・重複あり） (件)				
	R4年度	R5年度	R6年度	
表面化した問題	40	33	26	
高齢者虐待	8	9	6	
家庭内暴力、DV	0	4	1	
意思決定ができない	1	1	0	
支援拒否	2	3	4	
生命の危険がある	3	1	1	
日常生活に支障がある	6	3	2	
受診拒否	2	4	3	
必要な医療が受けられない	1	0	1	
服薬管理ができない	3	3	0	
金銭管理ができない	6	2	3	
経済、生活が破綻	1	0	1	
必要なサービスを利用できない	3	2	2	
不適切な支援を受けている	1	0	1	
その他	3	1	1	
【活動目標】				
1、センターの対応力を向上することで高齢者やその家族が効果的な支援を受けやすくなる。				
【評価】				
①達成状況 未達成				
②実施状況				
・相談受付内容について、共有、検討を行い必要時に自立相談支援機関とも連携しながら支援する事ができた。				
・複数職員体制実施に関して、抱え込み防止や職員相互のスキルアップに効果的であったが支援方法の検討や終結の確認について、より効果的にするために改善が必要である。				
・権利擁護ケースの振り返りについて、年3回の実施計画であったが、2回のみの実施となった。				
③今後の方向性				
・複合的な課題のある世帯に関しては、自立相談支援機関との連携は必須であり、課題を整理した上で、適切な支援につなげていけるよう継続した取り組みが必要である。				
・適切な支援に向け、複数職員体制での支援の経過や状況の把握、終結の判断を確実に実施する。				

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>【活動目標】</p> <p>1、センターの対応力を標準化することで高齢者やその家族が、適切な支援を受けやすくなる。</p>	<p>1、</p> <p>①相談受付ケースについて、センター職員全体で共有しながら、必要時、自立相談支援機関の職員との連携のもと、支援方法を検討する。</p> <p>②権利擁護ケースの支援経過や利用した制度、社会資源について年3回（7月、11月、3月）に振り返りを実施、共有する。</p> <p>③複数職員体制で担当している場合、支援する職員の抱え込み防止や職員相互のスキルアップを目的とし、共有、検討終結の判断を定期的に行う。</p> <p>④担当弁護士の定期相談時の際に、具体的な支援ケースの相談に加え法的な知識に関する勉強会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護相談対応件数</li> <li>・研修会や事例検討会の参加回数</li> <li>・センター内研修や事例検討会の実施回数</li> <li>・相談・通報者内訳</li> <li>・対応事案内訳</li> <li>・担当弁護士への相談内訳数</li> <li>・担当弁護士による勉強会開催数</li> </ul>

(イ) 権利擁護業務

事業内容	令和6年度 活動評価																																																				
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																			
<p>○センター権利擁護に関する広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙：2回 第17号（成年後見制度） 第18号（消費者被害）</li> <li>・ 地域での出前講座：2回 函館市民生委員連合会 どうなん学びの会</li> <li>・ 権利擁護研修（虐待防止）：4回 もも太郎 ももハウス（2回実施） ベイアニエス</li> </ul> <p>○ 担当弁護士への相談内容内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借金問題</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>相続</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>近隣問題</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>労働問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>離婚</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不動産</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>成年後見</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>死後事務</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>遺言</td> <td></td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保証人</td> <td></td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30</td> <td>23</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(件)</p> <p>○ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携先医療機関 病院：4箇所 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函館渡辺病院・なるかわ病院 函館中央病院・函館医療センター</span> クリニック：1箇所（ただ内科クリニック） 精神科：4箇所 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">亀田北病院 かとうメンタルクリニック ゆのかわメンタルクリニック いとうメンタルクリニック</span></li> <li>・ その他の連携機関 民間企業：はこだて調剤薬局湯川店、配食ふれあい ：青森みちのく銀行、柏木郵便局 警察：函館方面函館中央警察署 函館方面函館西警察署 行政機関：高齢福祉課、障がい保健福祉課、湯川福祉課 市民部国保年金課 司法関係：ゆめかなえ法律事務所 その他：湯川中学校、函館地域生活支援センター</li> </ul>	相談内容	R4年度	R5年度	R6年度	借金問題	3	3	2	相続	3	1	0	近隣問題	4	2	1	労働問題	0	0	0	離婚	0	0	0	不動産	3	3	2	成年後見	11	7	3	死後事務		1	1	遺言		2	0	保証人		2	0	その他	6	2	2	合計	30	23	11	<p>【活動目標】</p> <p>2、地域住民や関係機関の職員が、センターの権利擁護業務の内容を理解することで、相談しやすくなる。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当弁護士の定期相談等の活用により、法的な知識の理解をすることで、有効的に支援することができた。</li> <li>・ ケースを通じてつながった関係機関に関してセンター内で共有することができた。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 権利擁護研修（虐待防止）について、入所施設のみではなく、在宅サービス事業所向けに実施し、その内容に関して事業所内防止の内容に加え、支援時の流れについて共有することで、実際の対応時の連携体制につながると考える。</li> </ul>
相談内容	R4年度	R5年度	R6年度																																																		
借金問題	3	3	2																																																		
相続	3	1	0																																																		
近隣問題	4	2	1																																																		
労働問題	0	0	0																																																		
離婚	0	0	0																																																		
不動産	3	3	2																																																		
成年後見	11	7	3																																																		
死後事務		1	1																																																		
遺言		2	0																																																		
保証人		2	0																																																		
その他	6	2	2																																																		
合計	30	23	11																																																		

権利擁護  
業務

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>【活動目標】</p> <p>2、地域住民や関係機関の職員が、センターの権利擁護業務の内容を理解することで、相談しやすくなる。</p>	<p>2、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの権利擁護に関する内容について、下記のように実施する。</li> <li>①広報紙（成年後見制度・高齢者虐待）の配布。</li> <li>②地域での出前講座（成年後見制度・高齢者虐待・消費者被害）の実施。</li> <li>③在宅介護サービス事業所向けの高齢者虐待防止研修（事業所内防止と養護者による高齢者虐待対応の流れの理解）の実施。</li> <li>④地域密着型サービス事業所に対する虐待防止研修開催の支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙周知回数</li> <li>・出前講座周知回数</li> <li>・高齢者虐待防止研修の開催回数</li> <li>・地域密着型サービス事業所に対する虐待防止研修開催支援数</li> </ul>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価																																																																																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価																																																																														
包括的継続的 ケアマネジメント 支援業務	○相談件数（ケアマネジャー変更数）※未終結も含む (件)			<b>【活動目標】</b> 1、ケアマネジャーが自身の課題を理解し、多角的な視点をもち次の支援に活かすことができる。 <b>【評価】</b> ①達成状況 達成 ②実施状況 ・相談のあったケースについては、多角的な視点をもてるよう情報提供等を行い、今後の支援の方向性についての提案や話し合いができた。 ・ケースが抱える課題が複雑化しており、支援終結まで時間を要しているケースが増えているが継続的に連携支援することで、ケアマネジャーの意識の向上とケースの支援体制の構築につながった。 ・地域支援者等と連携が必要なケースは、個別地域ケア会議の開催を積極的に提案、実施することで支援体制の構築につながった。 ③今後の方向性 ・ケアマネジャーが地域とのつながりやケースが持つ強みを視野に入れた支援体制を整える意識が必要と考える。R7年度のケアマネジメント研修が上記内容を含んだ内容となっているため、積極的にケアマネジメント研修への参加を呼びかける。 ・引き続き、必要な情報提供、助言等を行いケアマネジャーが適切な支援の方向性を見出せるよう支援する。																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>39(12)</td> <td>38(11)</td> <td>28(9)</td> </tr> </tbody> </table>					R4年度	R5年度	R6年度	相談件数	39(12)	38(11)	28(9)																																																																						
		R4年度	R5年度		R6年度																																																																													
	相談件数	39(12)	38(11)		28(9)																																																																													
	○相談者※未終結も含む (件)																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談者</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネジャー</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>知人</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>警察</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>銀行・郵便局</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				相談者	R4年度	R5年度	R6年度	ケアマネジャー	12	16	13	本人	10	6	7	家族	3	5	1	民生委員	3	5	2	地域	1	0	3	知人	4	0	0	警察	1	1	0	銀行・郵便局	2	0	0	行政	0	2	0	その他	3	2	2																																		
	相談者	R4年度	R5年度		R6年度																																																																													
	ケアマネジャー	12	16		13																																																																													
	本人	10	6		7																																																																													
	家族	3	5		1																																																																													
民生委員	3	5	2																																																																															
地域	1	0	3																																																																															
知人	4	0	0																																																																															
警察	1	1	0																																																																															
銀行・郵便局	2	0	0																																																																															
行政	0	2	0																																																																															
その他	3	2	2																																																																															
○終結ケースにおける支援に至った要因（重複あり） (件)																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネジャーの問題</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>  対人援助技術</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>  支援の不足</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>  過剰な支援</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>対象者の問題</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>  認知症による</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>  精神疾患による</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>  支援拒否</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  不適切な要求</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>  気質・性格の問題</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>対象者家族の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>  認知症による</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  精神疾患による</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  支援拒否</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  気質・性格の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>家族間トラブル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>家族・親族がいない</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域・多職種連携</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>  方法が分からない</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				R4年度	R5年度	R6年度	ケアマネジャーの問題	7	9	11	対人援助技術	5	6	11	支援の不足	1	3	4	過剰な支援	2	1	1	対象者の問題	8	11	11	認知症による	2	4	5	精神疾患による	0	0	2	支援拒否	1	0	1	不適切な要求	2	3	3	気質・性格の問題	5	7	4	対象者家族の問題	0	0	2	認知症による	0	0	1	精神疾患による	0	0	1	支援拒否	0	0	1	気質・性格の問題	0	0	2	家族間トラブル	0	0	1	家族・親族がいない	0	0	1	地域・多職種連携	1	2	3	方法が分からない	1	2	3
	R4年度	R5年度	R6年度																																																																															
ケアマネジャーの問題	7	9	11																																																																															
対人援助技術	5	6	11																																																																															
支援の不足	1	3	4																																																																															
過剰な支援	2	1	1																																																																															
対象者の問題	8	11	11																																																																															
認知症による	2	4	5																																																																															
精神疾患による	0	0	2																																																																															
支援拒否	1	0	1																																																																															
不適切な要求	2	3	3																																																																															
気質・性格の問題	5	7	4																																																																															
対象者家族の問題	0	0	2																																																																															
認知症による	0	0	1																																																																															
精神疾患による	0	0	1																																																																															
支援拒否	0	0	1																																																																															
気質・性格の問題	0	0	2																																																																															
家族間トラブル	0	0	1																																																																															
家族・親族がいない	0	0	1																																																																															
地域・多職種連携	1	2	3																																																																															
方法が分からない	1	2	3																																																																															
○終結ケースにおける支援内容（重複あり） (件)																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報提供</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>助言・指導</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>連携のための支援</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>連携（民生委員）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>対応の振り返り</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>支援チームとして</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>地域ケア会議の開催</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				R4年度	R5年度	R6年度	情報提供	5	1	3	助言・指導	8	12	14	連携のための支援	1	0	2	連携（民生委員）	0	0	2	対応の振り返り	6	11	4	支援チームとして	0	0	3	地域ケア会議の開催	1	2	5																																																
	R4年度	R5年度	R6年度																																																																															
情報提供	5	1	3																																																																															
助言・指導	8	12	14																																																																															
連携のための支援	1	0	2																																																																															
連携（民生委員）	0	0	2																																																																															
対応の振り返り	6	11	4																																																																															
支援チームとして	0	0	3																																																																															
地域ケア会議の開催	1	2	5																																																																															
※情報提供～成年後見制度、苦情窓口、病院情報																																																																																		

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>1、ケアマネジャーが適切なケース支援の方向性を見出すことができる。</p>	<p>1、                      ①早期にケアマネジャーと状況を確認し、ケース支援の課題を共有する。                      ②ケース支援に必要な情報は、適宜ケアマネジャーに提供する。                      ③事業所内で未相談のケースは、事業所での相談や検討を提案する。                      ④介護保険外のサービス利用が必要なケースは、専門機関と円滑な連携がとれるよう支援する。（自立相談支援機関、障がい事業所等）                      ④相談受付の段階で、地域支援者等との連携が必要と判断される場合は個別地域ケア会議の開催を提案し、多機関での支援体制の構築につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供した情報内容</li> <li>・個別地域ケア会議につながった数</li> <li>・指導助言の数</li> </ul>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和6年度 活動評価				
	実績（実施回数、内容、実施方法等）		活動目標に対する評価		
包括的継続的 ケアマネジメント 支援業務	○合同ケアマネジメント研修開催状況 (回)				
		R4年度	R5年度	R6年度	
	開催回数	2	2	2	
	○合同ケアマネジメント研修（全域） 令和6年10月17日、18日開催 ・居宅介護支援事業所の参加状況 (件、人)				
		圏域内		全域	
		事業所	ケアマネ	事業所	ケアマネ
	参加数	8	18	82	203
	参加率	73.0%	49.0%	89.1%	65.7%
	・アンケート結果 (「理解できた」「理解が深まった」と回答した割合) アセスメントとは… 98.9% 課題分析から課題とニーズを導き出す… 97.9% 本人の望む暮らしを導き出す統合的アセスメント… 97.9% アセスメントのための仮説と検証… 99%				
	○圏域内ケアマネジメント研修（東中部圏域合同） 令和7年2月14日開催 〈テーマ〉「問題」から「課題」を考える。 (件)				
	参加事業所数	圏域内	居宅介護支援事業所	15	
			小規模多機能事業所	0	
		圏域外	居宅介護支援事業所	9	
	参加者数	25名(うち圏域内15名)			
○主任ケアマネ連絡会 開催状況 第1回 令和6年4月17日 参加数：16名（11事業所） 〈テーマ〉今年度の活動について意見交換・懇談会 ・昨年取り組めなかった勉強会のテーマの共有 ・今年度の活動内容の検討  第2回 令和6年7月17日 参加数：23名（11事業所） 〈テーマ〉BCPについて ・居宅固有の必要な取り組みについて共有 ・ケアパートナー函館 管理者による講話の実施 「デイサービスの災害等発生時の臨時的な対応」 ・圏域デイサービスに臨時的な対応状況についてアンケート実施、一覧として共有 ・圏域居宅介護支援事業所の災害等発生時等の業務協力一覧表作成し、共有  第3回 令和6年9月18日 参加数：20名（9事業所） 〈テーマ〉事例検討会 ・独居身寄り無し高齢者への支援についてグループワークを実施し、支援方法等について意見交換  第4回 令和7年1月22日 参加数：18名（10事業所） 〈テーマ〉将来的に不安がある世帯の支援を考える ・事例を基にグループに分かれて必要な支援、情報について意見交換 ・自立相談支援機関 相談支援員による講話の実施 「ひきこもり支援について」					
		【活動目標】 1、ケアマネジャーがアセスメントの重要性について再認識できる。 【評価】 ①達成状況 達成 ②実施状況 ・年度初めに居宅介護支援事業所等へアンケートを実施し、希望が多かった会場とWEBを選択可能な開催としたことで、R5年度と同程度の参加率を維持できた。 ③今後の方向性 ・圏域の小規模多機能事業所の参加が少ないため学びの機会としてケアマネジメント研修を活用できるよう促していく。 ・アンケートにて「特有の価値観を持つ方への理解が難しい」「生活史等の背景から考え、感情、行動の理由を推測することが難しい」と回答するケアマネジャーもおり、多角的に情報収集しアセスメントすることに苦手意識をもつケアマネジャーが一定数いることがわかる。次年度以降のケアマネジメント研修に活かせるよう検討していく。 ・R7年度は自立支援を意識したケアマネジメントができることを目標に全体研修及び圏域内研修を企画、実施する。			
		【活動目標】 2、圏域内の在籍するケアマネジャーが地域や多機関との連携の意識を高めることができる。 【評価】 ①達成状況 達成 ②実施状況 ・圏域内の主任ケアマネジャーと協働で主任ケアマネ連絡会を開催し、多機関の講話を聞く機会を作ることができた。 ・圏域のケアマネジャーに対し地域ケア会議への参加を呼びかけ、参加いただくことで、地域支援者とのつながりを支援できた。 ・適切に社会資源が活用されない、または適切な社会資源がないことで、ケアマネジャーの業務負担が増している状況があることを共有できた。 ③今後の方向性 ・圏域内の主任ケアマネジャーと意見交換を行い勉強会等を今後も継続して開催する。 ・高齢者支援における必要な社会資源については、今後も意見交換等行い地域や多機関との連携の意識を高めていく。			

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>1、ケアマネジャーが本人や地域の強みを活かし、自立支援を意識したケアマネジメントができる。</p>	<p>1、</p> <p>①合同ケアマネジメント研修を開催する。(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場とWEB参加を選択可能な開催をすることで、多くのケアマネジャーの参加につなげる。</li> <li>・参加の少ない事業所へは、学びの機会として活用できるよう働きかける。</li> <li>・開催後にアンケートを実施し、ケアマネジメント研修に対する意向を確認し、今後のケアマネジメント研修に活かしていく。</li> </ul> <p>〈目的〉 多くのケアマネジャーが、インテークからアセスメント、ケアプラン立案、実施、モニタリング、再アセスメントに至る一連の過程で必要なスキルが向上し、自立支援を意識したケアマネジメントを行うことができる。</p> <p>〈テーマ〉 「その人らしさ」を意識したケアプランの作成</p> <p>〈内容案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランとは</li> <li>・セルフケアや社会資源の活用</li> <li>・自立支援に資するケアマネジメントについて</li> </ul> <p>②全体研修の振り返りとして、圏域内に在籍するケアマネジャーを対象に事例を用いた演習研修を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート内容</li> <li>・圏域居宅の参加数</li> <li>・圏域小規模事業所の参加数</li> </ul>
<p>2、圏域内に在籍するケアマネジャーが希望する勉強会等を開催することができる。</p>	<p>2、</p> <p>①圏域内の主任ケアマネジャーと意見交換を行い、協働で勉強会等のテーマを設定する。</p> <p>②圏域内の主任ケアマネジャーと協働で主任ケアマネジャー連絡会の年間計画を作成し、実施する。</p> <p>③主任ケアマネジャーと高齢者支援に必要な社会資源について意見交換を行い、地域や多機関との連携の意識を高める。</p> <p>④スキルアップや、円滑なケアマネジメント業務の実施に必要な研修等の情報は随時、提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会等の開催数</li> <li>・社会資源の意見</li> </ul>

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法第115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価																										
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																									
個別ケースを検討する地域ケア会議	○個別ケースの検討を行う地域ケア会議の開催状況 (回) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>157.1%</td> <td>142.8%</td> <td>285.7%</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度	R5年度	R6年度	目標数値	7	7	7	開催回数	11	10	20	達成率	157.1%	142.8%	285.7%	【活動目標】 1、高齢者の個別課題を検討することで地域が抱える課題について支援者間で認識できる。 (目標数値 7回) 【評価】 ①達成状況 達成 ②実施状況 ・地域支援者より「気になる高齢者」の相談から、早期対応を意識した事でスムーズに地域ケア会議の開催につながられた。 ・個別ケースに関わる支援者間で互いの役割や対応を確認し、状態変化時に情報共有することで、効果的に対応できることが認識できた。また、それぞれが抱える問題や課題を検討する事で地域の課題について共有認識できた。 ・今年度の特徴として、集合住宅に住む対象者を9件実施しており、近隣トラブルに至る前にケアマネジャーと地域支援者間で情報共有を行う機会となった。同時に地域支援者間での情報共有が、地域の課題であると共有できた。また、集合住宅の管理会社の方の参加も多数あり、見守りや緊急時対応について互いの役割りを共有できた。 ③今後の方向性 ・上記内容と抽出された地域課題を踏まえ、地域に高齢者に関わる人を増やし、住民同士で互いに見守りの目を増やすことが、トラブルに至る前の早期相談につながると期待される。次年度の地域課題のケア会議のテーマに反映し、地域づくりにつなげていきたい。 ・ケアマネジャーが担当していても緊急時対応が困難なケースが増えている。アセスメントの際の聞き取りや、公的制度の活用も必要であり、今後勉強会のテーマに反映する。また個人情報保護の観点からも、地域ケア会議の活用を発信していく。 ・地域での連携体制を強化する上でも、地域支援者間での情報交換や、ケアマネジャーとの連携効果について地域ケア会議にて認識を共有していく。									
		R4年度	R5年度	R6年度																							
	目標数値	7	7	7																							
	開催回数	11	10	20																							
	達成率	157.1%	142.8%	285.7%																							
	○ケース分類 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター担当ケース</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業所担当ケース</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>地域からの相談ケース</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		R5年度	R6年度	センター担当ケース	2	4	居宅介護支援事業所担当ケース	7	14	地域からの相談ケース	1	2														
		R5年度	R6年度																								
	センター担当ケース	2	4																								
	居宅介護支援事業所担当ケース	7	14																								
	地域からの相談ケース	1	2																								
○ケース背景・重複あり (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症（疑い含む）</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>独居</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>同居家族が精神疾患（疑い含む）</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>緊急時対応が困難</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		R5年度	R6年度	認知症（疑い含む）	5	5	独居	7	11	同居家族が精神疾患（疑い含む）	3	5	緊急時対応が困難	1	7												
	R5年度	R6年度																									
認知症（疑い含む）	5	5																									
独居	7	11																									
同居家族が精神疾患（疑い含む）	3	5																									
緊急時対応が困難	1	7																									
○参加機関・重複あり (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域（民生委員等）</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業所</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>介護保険サービス事業所</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>生活支援事業所（障がい・後見人）</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>警察</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>民間事業所（住宅管理会社）</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		R5年度	R6年度	地域（民生委員等）	10	20	行政	2	6	居宅介護支援事業所	7	14	介護保険サービス事業所	3	7	生活支援事業所（障がい・後見人）	2	1	医療機関	3	1	警察	0	1	民間事業所（住宅管理会社）	0	9
	R5年度	R6年度																									
地域（民生委員等）	10	20																									
行政	2	6																									
居宅介護支援事業所	7	14																									
介護保険サービス事業所	3	7																									
生活支援事業所（障がい・後見人）	2	1																									
医療機関	3	1																									
警察	0	1																									
民間事業所（住宅管理会社）	0	9																									
○抽出された地域課題 ・民生委員や団地管理人から、在宅福祉委員担当への地域の相談が入る事はあるが、时期的なずれや内容が変化している事も多い。支援者間で直接顔を合わせて情報共有できる機会が必要である。 ・町会に入っていない人は情報も少なく緊急時の対応に苦慮する。未加入の人とも顔を合わせる機会があれば良い。 ・団地住民間でトラブルが起きると、住宅内には共有部分も多く問題が大事になりやすく、対象者が疎外化される可能性が高い、早い段階での情報共有が必要である。 ・相談が多くなってきている8050問題等、家族間の問題や子供世代の問題が周囲には気づかれにくい実情がある。公営住宅の管理人や近隣住民から随時情報があると早期に対応しやすい。 ・身寄りがいなく、一人暮らしの方は状況の変化に気づきにくい。 ・元々住民同士の結びつきがある地域であったが、高齢や他界により関係性が弱くなってきている。 ・身寄りが遠方で、緊急時対応が難しい独居高齢者が多い。																											

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>1、支援者が高齢者の個別課題を検討することで支援者間の連携体制を強化できる。</p>	<p>1、</p> <p>①地域支援者と各専門の関係機関をつなぎ、互いの役割や対応について知り、効果的に連携ができるよう進める。</p> <p>②個別のケースについての課題から地域の課題について意見交換することで、高齢者の状態変化に気付ける「地域との関わり」の重要性について、再認識ができるよう働きかける。</p> <p>③個別の地域ケア会議からの地域課題を分析して、地域支援者やケアマネジャーへの勉強会等へ反映する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数と目標達成率</li> <li>・ケアマネジャーが地域の支援者との連携につなげられた回数</li> <li>・高齢者の支援者間で地域課題について確認できた回数</li> </ul>

(I) 地域ケア会議推進事業

令和6年度 活動評価		
事業内容	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
個別ケースを検討する地域ケア会議	<p>○抽出された地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の飼い主が亡くなった場合、ペットの引き取り先について、ご家族が疎遠だと決まるまで時間がかかる。</li> <li>・独居高齢者がペットを飼うことで必要な支援（入院や施設入所）を断るケースも増えている。</li> <li>・高齢者の認知症の問題が複雑化している。普段から民生委員や介護関係者と関わりのある人は良いが、独居だと関わりのきっかけ作りが難しい。</li> <li>・対象者の住むマンションでは56世帯中24世帯が65歳以上の独居高齢者となっている。</li> <li>・現在は体調に問題が無くても、今後悪化してしまう可能性がある。緊急時すぐに連絡が取れるようにしていたが、個人情報に関係もあり把握が難しい。その中で、共有の同意を得た方については、連絡先を一覧化したことで互いの安心感も生まれた。信頼関係を築き、進める必要がある。</li> <li>・アパートへの転居は入れ替わりも激しく、独居高齢者の把握が難しい。早期相談に繋げるため、転居した際に当センターのリーフレットと町会や民生委員についての案内を渡してはどうか検討する必要がある。</li> <li>・地域支援者間、住民同士で顔を合わせる機会が必要である。</li> <li>・町会館が無く近隣の集合住宅を借りて、行事を行っていたが、坂道もあり高齢者が通うには負担が大きい。</li> <li>・高齢者が通いやすい集まりの場の確保や興味を引く内容の行事検討が必要である。</li> <li>・民生委員が訪問しても「関係ない」と断られる。</li> <li>・対象者妻が近隣と関わりがあったことで、支援への対応がスムーズだった。元気なうちに周りとなつておくことが大切である。</li> <li>・つながりが必要と思う一方で、集合住宅内の付き合いを負担に感じている部分もある。</li> <li>・地域の相談窓口（民生委員やセンター）の周知を工夫して早期に相談ができる。小さなことでも関係者同士で情報共有して、不安の軽減を図る必要がある。</li> <li>・独居高齢者が多く、市内に家族がいない場合は入院等の手続きに困るケースが増えている。町会や民生委員も協力できる範囲が限られている。</li> <li>・明らかに介護支援が必要な高齢者がいるが、介護申請の話をして拒否される。同居家族の介護保険についての理解が必要と思われる世帯が増えている。</li> <li>・身寄りのない方が多く、緊急時対応などに不安を感じる人が多い。支援者が安心して対応できるよう必要時は成年後見制度等適切な制度の利用を検討が必要である。</li> <li>・高齢で独居の方が増え、見守り件数が増えてきている。</li> <li>・わずかに収入が多いことで、生活保護の対象にならない方がいる。金銭面から、介護保険のサービスを適切に利用できない方もいる。</li> </ul>	
自立支援型地域ケア会議	<p>○自立支援型地域ケア会議の開催状況</p> <p>①令和7年1月23日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内主任ケアマネジャー担当ケース実施</li> </ul>	<p>【活動目標】</p> <p>1、介護支援専門員等が身体的自立に向けてアセスメントの視野が広がる。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職ならではの視点を学ぶ機会となった。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助言内容がケアプランへ効果的に活かせるか確認を行う。</li> </ul>

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>1、介護支援専門員等が本人や地域の強みを活かした、自立支援に資するケアマネジメントを行うことができる。</p>	<p>1、                      ①ケアマネジャーが担当するケースから生活不活発病が予測される事例を選定・検討し、リハビリ専門職等と意見交換を行い、本人や地域の強みを活かせるよう、会議開催に向けて、書類準備等の支援を行う。                      ○自立支援型地域ケア会議                      ・令和7年11月27日：居宅支援事業所ケアマネジャー担当ケースを選定し、会議進行を行う。                      ③開催 3カ月後にケース担当のケアマネジャーへ、会議後の状況変化についてモニタリングを行いケアプランへの反映を確認する。</p>	<p>・圏域内の居宅支援事業所に勤務するケアマネジャーが身体的自立について専門職と連携して、ケース検討を行った回数</p>

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和6年度 活動評価																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																
地域課題の検討を行う地域ケア会議	○地域課題の検討を行う地域ケア会議の開催状況 (回)	<b>【活動目標】</b> 1、他町会の効果的な取り組みを知り、各町会のニーズに沿う活動展開につなげる。 <b>【評価】</b> ①達成状況 達成 ②実施状況 ・他町会の効果的な取り組みを共有し、自分達の住む地域の課題を検討した件数は4件であり、それぞれの特性やニーズに合わせた効果的な取り組みを意識できる機会となった。 ・高齢者を中心に多世代で見守りの目や関わる人が増えるよう、地域活動へ関心を持ってもらえるような企画や周知、働きかけについて意見交換ができた。その中で町会から学校や学生との連携を支援してほしいとの希望が多かった。 ・今年度は、コロナ禍後に初めて圏域全域での地域ケア会議を開催し、多くの町会や関係機関、多世代で顔を合わせて意見交換ができた。多数の参加希望があり、意見内容から災害への意識の高さや地域内での連携体制への危機感も多く聞かれた。 ③今後の方向性 ・上記内容を踏まえ、地域内で多世代の関わりが増えるよう、関係機関や学校関係者への効果的な働きかけを検討していく。 ・高齢者の生きがい支援になれるよう、活躍できる人材の確認や特技を活かせる場を検討し多世代の交流機会を増やす。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>175.0%</td> <td>250.0%</td> <td>200.0%</td> </tr> </tbody> </table>			R4年度	R5年度	R6年度	目標数値	4	4	4	開催回数	7	10	8	達成率	175.0%	250.0%	200.0%
			R4年度	R5年度	R6年度													
	目標数値		4	4	4													
	開催回数		7	10	8													
	達成率		175.0%	250.0%	200.0%													
	○開催内容・参加機関																	
	①令和6年4月3日 地域包括支援センターゆのかわ																	
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>対象地域</td> <td>深堀町</td> </tr> <tr> <td>地域課題</td> <td>地域の人材を活かし多世代と協力しながら効果的な町会活動ができる。</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>学校へボランティア等協力依頼や高齢者の人材集約を行う。年間を通して町会活動の実施期日を決めて周知を進めていく。</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>2名（町会長・町会役員）</td> </tr> </tbody> </table>		対象地域	深堀町	地域課題	地域の人材を活かし多世代と協力しながら効果的な町会活動ができる。	今後の方向性	学校へボランティア等協力依頼や高齢者の人材集約を行う。年間を通して町会活動の実施期日を決めて周知を進めていく。	参加機関	2名（町会長・町会役員）								
	対象地域		深堀町															
地域課題	地域の人材を活かし多世代と協力しながら効果的な町会活動ができる。																	
今後の方向性	学校へボランティア等協力依頼や高齢者の人材集約を行う。年間を通して町会活動の実施期日を決めて周知を進めていく。																	
参加機関	2名（町会長・町会役員）																	
②令和6年6月5日 ユートピア川原団地集会所																		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>対象地域</td> <td>川原町</td> </tr> <tr> <td>地域課題</td> <td>5年10年先も今の団地で暮らすための取り組みを住民や関係者が自主的に取り組める。</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>体力や健康維持につながるよう専門職と連携する。効果的に楽しんで参加できる事業を住民や関係者と企画開催していく。</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>15名（地域住民・住宅管理会社・薬局）</td> </tr> </tbody> </table>	対象地域	川原町	地域課題	5年10年先も今の団地で暮らすための取り組みを住民や関係者が自主的に取り組める。	今後の方向性	体力や健康維持につながるよう専門職と連携する。効果的に楽しんで参加できる事業を住民や関係者と企画開催していく。	参加機関	15名（地域住民・住宅管理会社・薬局）										
対象地域	川原町																	
地域課題	5年10年先も今の団地で暮らすための取り組みを住民や関係者が自主的に取り組める。																	
今後の方向性	体力や健康維持につながるよう専門職と連携する。効果的に楽しんで参加できる事業を住民や関係者と企画開催していく。																	
参加機関	15名（地域住民・住宅管理会社・薬局）																	
③令和6年7月2日 函館市立深堀小学校 図書室																		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>対象地域</td> <td>深堀町・駒場町・花園町</td> </tr> <tr> <td>地域課題</td> <td>学校も含め多町会間の行事の情報共有や地域での連携体制ができる。</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>町会行事は学校内メールで共有する。校区内の町会同士の横のつながりを作り、相互協力の検討する。通学路の見守り協力実施する。</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>22名（町会役員・小学校PTA・小学校教師）</td> </tr> </tbody> </table>	対象地域	深堀町・駒場町・花園町	地域課題	学校も含め多町会間の行事の情報共有や地域での連携体制ができる。	今後の方向性	町会行事は学校内メールで共有する。校区内の町会同士の横のつながりを作り、相互協力の検討する。通学路の見守り協力実施する。	参加機関	22名（町会役員・小学校PTA・小学校教師）										
対象地域	深堀町・駒場町・花園町																	
地域課題	学校も含め多町会間の行事の情報共有や地域での連携体制ができる。																	
今後の方向性	町会行事は学校内メールで共有する。校区内の町会同士の横のつながりを作り、相互協力の検討する。通学路の見守り協力実施する。																	
参加機関	22名（町会役員・小学校PTA・小学校教師）																	
④令和6年7月24日 地域包括支援センターゆのかわ																		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>対象地域</td> <td>圏域全域</td> </tr> <tr> <td>地域課題</td> <td>高齢者が長く地域で生活できるよう、工夫した取り組みができる。</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>環境を活かした高齢者が楽しめる散歩や数人で電車を利用した外出の企画を検討する。高齢者ができるボランティアの声かけをする。</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>9名（町会役員・高校生・町会連合会事務局）</td> </tr> </tbody> </table>	対象地域	圏域全域	地域課題	高齢者が長く地域で生活できるよう、工夫した取り組みができる。	今後の方向性	環境を活かした高齢者が楽しめる散歩や数人で電車を利用した外出の企画を検討する。高齢者ができるボランティアの声かけをする。	参加機関	9名（町会役員・高校生・町会連合会事務局）										
対象地域	圏域全域																	
地域課題	高齢者が長く地域で生活できるよう、工夫した取り組みができる。																	
今後の方向性	環境を活かした高齢者が楽しめる散歩や数人で電車を利用した外出の企画を検討する。高齢者ができるボランティアの声かけをする。																	
参加機関	9名（町会役員・高校生・町会連合会事務局）																	
⑤令和6年11月14日 函館市立日吉ヶ丘小学校																		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>対象地域</td> <td>日吉町</td> </tr> <tr> <td>地域課題</td> <td>地域の人材や支援について知り多世代で交流や協働できる地域での連携体制ができる。</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>他町会の先駆的な取り組みを例に高齢者の生きがい支援になれるよう、多世代で児童への学習支援や子供食堂の機会を検討する。</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>2名（小学校PTA・小学校教師）</td> </tr> </tbody> </table>	対象地域	日吉町	地域課題	地域の人材や支援について知り多世代で交流や協働できる地域での連携体制ができる。	今後の方向性	他町会の先駆的な取り組みを例に高齢者の生きがい支援になれるよう、多世代で児童への学習支援や子供食堂の機会を検討する。	参加機関	2名（小学校PTA・小学校教師）										
対象地域	日吉町																	
地域課題	地域の人材や支援について知り多世代で交流や協働できる地域での連携体制ができる。																	
今後の方向性	他町会の先駆的な取り組みを例に高齢者の生きがい支援になれるよう、多世代で児童への学習支援や子供食堂の機会を検討する。																	
参加機関	2名（小学校PTA・小学校教師）																	

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>1、地域の特性に合わせて、高齢者が多世代と活動できる機会を増やす。</p>	<p>1、                      ①地域の特性に合わせて、高齢者が活動的に過ごせるための課題について意見交換ができる地域ケア会議を開催する。                      ②地域で活動できる高齢者の把握を行い、圏域の学生や関係機関から協働できることについて意見交換ができる地域ケア会議を開催する。                      ③個別地域ケア会議にて抽出された地域課題として「住民同士で互いに見守りの目を増やすことが、早期相談につながる」とあり、高齢者に関わる人が地域で増えるよう、多世代も交えて交流や活動ができる地域づくりを進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数</li> <li>・高齢者が活動できる機会を検討した回数</li> <li>・地域づくりについて多世代、多機関が互いに協働できることを検討した回数</li> </ul>

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和6年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
地域課題の 検討を行う 地域ケア会議	⑥令和6年11月28日 地域包括支援センターゆのかわ	
	対象地域	深堀町
	地域課題	地域の人材を活かした行事を企画し、町会活動の効果的な広報や周知ができる。
	今後の方向性	学校への協力や学生ボランティア協力の集約を行い多世代での地域づくりの企画を検討する。近隣町会との課題を共有し、協働の検討する。
	参加機関	3名（町会役員・町会長）
	⑦令和6年12月12日 地域包括支援センターゆのかわ	
	対象地域	深堀町（深堀町会・東深堀町会）
	地域課題	年度を通して役割分担を決めて町会活動を行い、負担なく地域づくりを進められる。
	今後の方向性	各町会館の効果的な活用について現状に合わせて検討する。町会内の人材が活躍できる仕組みを検討し高齢者の生きがい支援につなげる。
	参加機関	5名（町会役員・町会長）
	⑧令和7年3月27日 函館市民会館 小ホール	
	対象地域	圏域全域
地域課題	高齢者を中心に地域で災害に備えられるよう多世代での避難訓練や連携ができる。	
今後の方向性	参加者全員と書面にて地域課題を共有する。高齢者ができる災害対策に取り組み、関係機関や多世代で連携できる事を検討する。	
参加機関	110名（民生委員・町会役員・町会連合会 学生・学校関係者・行政）	

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標

イ 生活支援体制整備事業

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第5号

【目的】地域における住民主体の助け合い活動を促進する仕組みおよび高齢者の社会参加を促進する仕組みの創出ならびに充実を行う。

事業内容	令和6年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
第2層生活支援 コーディネーター業務	<p>○ネットワーク構築数 225回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続してネットワーク構築を行った機関 圏域内の町会、教育機関、医療機関、金融機関、商業関係</li> <li>・特徴的な新規ネットワーク構築機関 函館老人クラブ連合会、駒場小学校PTA</li> </ul> <p>○地域での支え合いの必要性に関する周知回数 35回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座（34）、広報紙リーフレット配布（1回）</li> <li>・特徴的な周知機会 函館市町会連合会主催の町会役員向け研修会 看護学校2校など</li> </ul> <p>○高齢者が特技を活かし活動へ参加した回数 7回、56名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深堀小学校 1～4年生への伝承授業の講師 校区内4町会の港おどりが得意な方による指導（16名）</li> <li>・深堀小学校、駒場小学校 3年生への樹木観察授業の講師 校区内2町会のサポーターが授業を補助（10名）</li> <li>・深堀小学校児童会への花植え講師 児童会が敷地内フェンスへ花を設置する際の指導（14名）</li> <li>・駒場認定こども園の夏祭りの運営補助 縁日でのかき氷コーナーの担当（4名）</li> <li>・駒場小学校2年生の総合学習授業への協力 校外学習「まち探検」の引率補助（6名）</li> <li>・地域食堂「ハホニコキッチン」での学習指導 参加児童への学習や遊びの指導、補助（1名）</li> <li>・深堀小学校児童会への木工作品制作の指導 廃材を使った作品づくりでの道具の使い方指導など（5名）</li> <li>・アルツハイマー月間inはこだてでの製作指導 新聞紙でのエコバック製作コーナーの担当（2名）</li> </ul> <p>○マッチングした回数 22事業（うち新規14事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「深堀小学校伝承授業～港おどり～」実技指導（2年目） 深堀小学校校区内4町会×深堀小学校</li> <li>・「駒場ひろば～ゴミ拾いと環境学習～」清掃活動（2年目） 湯浜町会×駒場小学校</li> <li>・「深駒夏祭り」運営ボランティア（2年目） 深駒町会×深堀中学校、深堀小学校、駒場小学校</li> <li>・「深堀小学校伝承授業～港おどり～」実技指導（2年目） 深堀小学校校区内4町会×深堀小学校</li> <li>・「深駒防災大運動会」運営ボランティア（2年目） 深駒町会×深堀中学校、深堀小学校、駒場小学校</li> <li>・「お茶っこひろば～走らない運動会」運営ボランティア 東深堀町会×深堀中学校</li> <li>・「全市一斉クレンジンググリーン作戦」町会へ参加 2回 深堀中学校校区内町会×函館市立深堀中学校</li> <li>・「深堀ひろば」学習サポートと防災活動 3回 深堀町会×深堀中学校、深堀小学校</li> <li>・「ほりほり市In深小」運営ボランティア 深堀町会×深堀中学校、深堀小学校</li> </ul>	<p>【活動目標】</p> <p>1、地域での支え合いの仕組みづくりのため地域にある関係機関とのネットワーク構築について、新規開拓および継続的に取り組む。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで同様、多世代多分野に関わる機関とのネットワーク構築ができた。</li> <li>・全市的な研修会等を活用し、広く周知できたことはとても効果的であった。また、若い世代へ周知できたことは担い手育成の面からも有効だったと考える。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代、異分野の方々がつながっていくことで、新たな支え合いの仕組みができる可能性が期待できることから、今後も継続して取り組む必要がある。</li> </ul> <p>【活動目標】</p> <p>2、地域学校協働活動において、地域と学校がつながり、高齢者の社会参加の機会ができる。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が得意分野を活かし、多世代への指導や協力として社会参加し、役割を果たすことができた。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者が役割意識を持ち、活動する機会があることは、介護予防や効果的な地域づくりとしても効果的であり、今後も継続して取り組む必要がある。</li> </ul> <p>【活動目標】</p> <p>3、新たな活動に取り組みたい団体が地域特性に合わせ効果的な展開ができる。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町会や関係機関から把握したニーズをもとに、適時マッチングし、効果的な事業展開につなげることができた。</li> <li>・多世代、多分野でのマッチングは担い手育成にもつながり、効果的だった。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のより多くの地域、機関で展開され、定着につながるよう、継続して取り組む必要がある。</li> </ul>

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
1、地域での支え合いの仕組みづくりのため、地域にある関係機関とのネットワーク構築について、新規開拓および継続的に取り組む。	1、 ①地域にある各関係機関の新規開拓やニーズの把握を行う。 ②既に関わりのある団体との継続的なネットワーク構築及び新たなニーズについて意識的に把握する。 ③出前講座、広報紙配布、見守りネットワーク事業等のセンター業務を通じて、地域での支え合いの必要性について、地域住民や関係機関に対して周知する機会を持つ。	・新規開拓機関数 ・ネットワーク構築数 ・地域での支え合いの必要性に関する周知回数
2、地域学校協働活動において、地域と学校がつながり、高齢者の社会参加の機会ができる。	2、 ①地域学校協働活動に参加し、学校や地域のニーズを把握する。 ②各高齢者の得意なことや、できることについて意識的に把握する。 ③高齢者が得意分野を活かし多世代に向け社会参加できる場を調整する。 ④学校と地域がお互いの強みを活かし効果的につながり、協働できるよう提案し、サポートする。	・地域学校協働活動の参加数 ・ニーズを把握した機関数 ・高齢者の社会参加数
3、新たな活動に取り組みたい団体が、地域特性に合わせ効果的な展開ができる。	3、 ①各機関から把握したニーズを基に、新たな活動に取り組みたい団体を抽出する。 ②新たな活動につながりそうな団体に対し、懇談会等を重ね、実現可能な方法について検討・提案する。 ③ニーズのある団体のマッチングを行う。 ④団体の取り組みが、仕組みとして地域に展開されるよう支援する。	・懇談会開催数 ・マッチング数 ・自主活動支援数
4、町会等が先駆的な取り組み例を知り、社会参加や助け合い活動の重要性について知る。	4、 ①先駆的な取り組み例を広報紙等へ掲載し、配布する。 ②出前講座や懇談会等を開催し、社会参加や住民主体の助け合い活動等について周知する。 ③町会だよりの掲示等、集いの場を活用し、他の町会の活動について情報を得られるようにする。 ④SNSを活用し、多世代へ向け広く発信する。	・広報紙への掲載有無 ・町会だよりの掲示町会数 ・町会活動が掲載された新聞の掲載数 ・周知回数 ・SNS掲載有無
5、創出できた社会資源が継続的に展開できる。	5、 ①高齢者がお散歩マップを効果的に活用できるよう、適宜助言する。 ②歩こう会が高齢者に積極的に活用されるよう、適宜助言する。 ③おたすけ隊が継続的かつ充実した展開となるよう、適宜助言する。 ④ぶらりふかぼりが地域特性に合わせ効果的に活用されるよう、適宜助言する。 ⑤生じる課題に早期に気付き助言できるよう、各団体代表者と定期的に意見交換を行う。 ⑥新たな社会資源の創出につながるよう、各団体へ働きかけ、適時支援する。	・各団体代表との意見交換数 ・継続割合
6、健康づくり教室から発展したグループが地域の集いの場として機能することができる。	6、 ①アセスメントを行い、リーダー、各集団に対して必要な助言を行う。 ②リーダーや参加者と共に、参加状況や活動内容について情報共有する。 ③活動において課題がある場合、適宜リーダーや参加者へ支援する。 ④住民主体の助け合い活動の重要性を周知する。 ⑤各グループの特性や意向に合わせて介護予防、健康に関する知識、社会資源等の情報提供や運動指導を行う。 ⑥必要時、関係機関への連絡調整や参加者同士の関係構築に向けた助言を行う。	・自主活動支援回数

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容	令和6年度 活動評価																																
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																															
<p>第2層生活支援 コーディネーター業務</p> <p>(新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「樹木観察授業」授業講師 駒場小学校×深堀町会×深駒町会</li> <li>「深堀小学校児童会にこここ計画」技術指導 深堀小学校×校区内4町会</li> <li>「深駒モルック交流大会」運営ボランティア 深駒町会×深堀中学校</li> <li>「駒場認定こども園夏まつり」運営ボランティア 駒場認定こども園×深駒町会×深堀中学校</li> <li>「湯浜児童館まつり」運営ボランティア 湯浜児童館×湯浜町会×深堀中学校</li> <li>「FK防災キッズクラブ」指導協力 深堀小学校×駒場小学校×深堀町会×深駒町会</li> <li>地域食堂「ハホニコキッチン」運営協力 日吉南団地自治会×日吉ヶ丘小学校保護者会</li> <li>「廃材を使った工作教室」運営ボランティア 東深堀町会×深堀中学校</li> <li>「東深堀オリジナル体操」製作補助 東深堀町会×老人保健施設ケンゆのかわ</li> <li>「湯川小学校 2年生七夕飾りづくり授業」補助、交流 湯川三丁目町会×湯川小学校</li> <li>「湯川小学校 1年生お歌発表交流授業」交流 湯川三丁目町会×湯川小学校</li> <li>「湯川小学校 2年生おもちゃまつり授業」交流 湯川三丁目町会×湯川小学校</li> <li>「湯川学発表とジンギスカン体操」交流、製作 湯川町 1丁目町会×湯川中学校</li> <li>「湯川町 1丁目夏祭り」補助、指導 湯川町 1丁目町会×自衛隊</li> </ul> <p>○先駆的な取り組み例の発信数 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙への掲載 1回</li> <li>全市的研修会 3回 (その他)</li> <li>集いの場を活用し、圏域内町会の町会だよりの掲示</li> <li>玄関ホールを活用し、町会活動の写真や新聞記事の掲示</li> </ul> <p>○自主活動支援</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">(回)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湯川温泉町会</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>深堀町会</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>○参加人数（1回当たり）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">(人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>最多</th> <th>最少</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湯川温泉町会</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>深堀町会</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		(回)				R4年度	R5年度	R6年度	湯川温泉町会	5	5	6	深堀町会	8	11	12		(人)				最多	最少	平均	湯川温泉町会	13	8	10	深堀町会	15	3	11	<p>【活動目標】</p> <p>4、町会等が先駆的な取り組み例を知り社会参加や助け合い活動の重要性について知る。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、全市的に発信したり、集いの場等を活用し、多くの町会や関係機関の方々に先駆的な取り組みを伝えることができ、地域関係者からの反応も多く見られた。</li> <li>関係機関からの問い合わせも複数あり、多世代、多機関の意識の高まりにつながったと考える。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、より多くの取り組みにつながるよう継続して周知していく機会を持つ必要がある。</li> </ul> <p>【活動目標】</p> <p>5、創出できた社会資源が継続的に展開できる</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いずれの社会資源も、地域性やメンバーの状況に合わせ、継続的に展開できている。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー構成の変化等により新たな課題が生じることも予想されるため、次年度も継続して、適宜支援していく必要がある。</li> </ul> <p>【活動目標】</p> <p>6、各自主活動グループが活動を自主的に運営することができる。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動は定期的実施され、参加メンバーについても大きな変化なく継続した参加となっている。</li> <li>内容については、都度参加者の状況を確認しながら、リーダーと共有し参加継続につながるよう実施した。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>深堀町会に関してはリーダーと参加者の意向に若干の差異があり、適切に関われなかった部分がある。次年度はリーダーの気づきや運営が適切に行えるよう支援していく。</li> <li>引き続きそれぞれの活動の主旨に沿って、参加者が楽しく活動し、地域の集いの場としての機能が継続できるよう支援していく。</li> </ul>
	(回)																																
	R4年度	R5年度	R6年度																														
湯川温泉町会	5	5	6																														
深堀町会	8	11	12																														
	(人)																																
	最多	最少	平均																														
湯川温泉町会	13	8	10																														
深堀町会	15	3	11																														

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標

ウ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症初期集中支援推進事業

(イ) 認知症地域支援・ケア向上事業

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第6号

【目的】認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

事業内容	令和6年度 活動評価																
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価															
<p>認知症総合支援事業</p> <p>(ア) 認知症初期集中支援推進事業</p> <p>○認知症初期集中チームとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例提供 0件</li> <li>・チーム員会議への参加 0回</li> </ul> <p>(市からの会議参加依頼回数 0回)</p> <p>(イ) 認知症地域支援・ケア向上事業</p> <p>○広報紙掲載 1回</p> <p>○認知症サポーター養成講座の開催 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・函館市医師会看護・リハビリテーション学院看護学科1年 35名 (R 6. 4.24)</li> <li>・函館大学付属有斗高校 3年 86名 (R 6.11. 1)</li> <li>・函館市立湯川小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>4年 1組 27人 (R 6.12.10)</li> <li>4年 2組 26人 (R 6.12.10)</li> </ul> </li> <li>・函館市立深堀小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>4年 1組 34人 (R 6. 1.24)</li> </ul> </li> <li>・函館市立駒場小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>4年 1組 35人 (R 7. 2.18)</li> </ul> </li> </ul> <p>※授業参観日に合わせて実施し、保護者へも周知</p> <p>○出前講座の開催 13回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民 9回 (うち1回は函館市市民公開講座)</li> <li>・民生委員 1回</li> <li>・看護学生 3回</li> </ul> <p>○認知症ケアパスの配布 507冊</p> <p style="text-align: right;">(冊)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体への配布</td> <td>250</td> <td>297</td> <td>478</td> </tr> <tr> <td>個人への配布</td> <td>19</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>269</td> <td>326</td> <td>507</td> </tr> </tbody> </table> <p>○認知症カフェの開催 13回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼかぼかカフェ (包括直営) 11回 対象：湯川三丁目町会エリアの住民 会場：函館市医師会看護・リハビリテーション学院 協力：上記学院看護学生</li> <li>・ひだまりカフェ (ケンゆのかわへ後方支援) 2回</li> </ul> <p>○見守り体制の構築方法の検討回数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議推進事業参照</li> </ul> <p>○アルツハイマー月間 inはこだてへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員として協働</li> <li>・「みんなで知ろう！認知症コーナー」シエスタ函館</li> <li>・五稜郭タワーライトアップセレモニー参加</li> <li>・オレンジらんはこだて参加</li> <li>・「認知症予防体操」の看護学生への指導</li> <li>・モノづくりコーナー講師の調整、運営補助</li> </ul>		R4年度	R5年度	R6年度	団体への配布	250	297	478	個人への配布	19	29	29	計	269	326	507	<p>【活動目標】</p> <p>1、認知症の正しい理解者や見守りの重要性がわかる人が増える。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を通し、多世代や多機関の方々へ広く周知できた。特に認知症サポーター養成講座を通し、担い手となりうる若い世代にも多く周知でき、合わせて保護者向けに関係資料も渡すことができている、効果的な取り組みだった。</li> <li>・認知症カフェは、障がい施設と連携しパン販売を合わせて行っているが、毎回早めに会場に入り、参加者同士カフェタイムを楽しむ様子も見られている。また、協力してくれる関係機関も増えており、効果的な機会となっている。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度はチームオレンジの整備に向け、取り組みが必要になることから、関係機関との連携を進め、効果的な展開となるよう提案しながら、市内認知症地域支援推進員とともに取り組んでいく。</li> </ul> <p>【活動目標】</p> <p>2、必要時認知症初期集中支援チームを活用し早期診断、早期対応を行う。</p> <p>【評価】</p> <p>①達成状況 未達成</p> <p>②実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームの活用が望ましいケースがなく、対応例はなかった。</li> <li>・活用はないものの、緊急時含め適時医療機関と連携しながら対応できている。</li> </ul> <p>③今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も状況に合わせ、必要時チームとの連携を検討し、適時活用していく。</li> </ul>
	R4年度	R5年度	R6年度														
団体への配布	250	297	478														
個人への配布	19	29	29														
計	269	326	507														

令和7年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>1、支援を必要とする人が必要時認知症初期集中支援チームを活用し、早期診断や早期対応につながる。</p> <p>2、認知症の正しい理解者や見守りの重要性がわかる人が増える。</p>	<p>1、</p> <p>①認知症初期集中支援チームと連携し展開する。 ・活用が望ましい相談があった際は適時事例提供する。 ・行政から依頼があった際はチーム員会議へ参加する。</p> <p>2、</p> <p>①広報紙等を活用し、認知症の初期症状や地域の見守りの重要性について周知する。 ②認知症サポーター養成講座を開催する。 ・既に実施している団体については継続実施の打診をする。 ・今後担い手となりうる世代、高齢者と接する機会が多い機関に対して開催に向け打診をする。 ③キャラバンメイトの今後の活動について検討する。（市内推進員協働） ・キャラバンメイトとの連携についての検討や情報共有を行う。 ④出前講座を実施する。 ・一般的な認知症だけではなく初期症状について重点的に実施する。 ・町会や地域の支援者、高齢者と関りが多い関係機関へ開催を打診する。 ⑤認知症カフェを展開する。 ・3年目となるぼかばかカフェを継続実施する。 ・開催を希望する事業所へ随時、後方支援を行う。 ⑥函館市認知症ケアパスを配布する。 ・個別支援時に適宜積極的に活用する。 ・地域住民や関係機関への普及啓発時に積極的に配布し、広く周知する。 ⑦地域ケア会議等において支援や見守り体制の構築方法を検討する。 ⑧世界アルツハイマー月間 in はこだてを実施する。（市内認知症地域支援推進員協働） ・効果的な開催につながるよう検討や提案を行う。 ⑨認知症地域支援推進連絡会へ参加する。 ・市内認知症地域支援推進員との情報交換等により、効果的な地域展開となるよう検討、提案をする。 ⑩認知症地域支援推進員研修及び認知症に関する研修へ参加する。 ・職員のスキルアップのため力量に合わせた研修への参加を検討する。 ⑪チームオレンジの整備に向け検討する。 ・市、市内認知症地域支援推進員とともに検討し、効果的な整備に向け取り組む。 ・圏域内の地域のアセスメントを行い、効果的なチームについて検討する。 ・ステップアップ研修を実施する。</p>	<p>・チーム員会議回数 ・相談事例提供件数</p> <p>・広報紙への掲載回数 ・認知症サポーター養成講座開催数 ・認知症に関する出前講座回数 ・認知症ケアパス配布数 ・認知症カフェ実施数 ・認知症カフェ後方支援実施数 ・見守り体制の構築方法の検討回数 ・研修会参加数 ・市全体での検討会参加数 ・ステップアップ研修の実施有無</p>

令和6年度 活動評価		
事業内容	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症総合 支援事業	<p>○研修会参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員研修 1名</li> <li>・3市町合同住民公開講座～オレンジランプを観てみんなで語ろう～</li> <li>・今知りたいMCIと認知症のこと</li> <li>・道南認知症疾患医療連携協議会研修会</li> </ul>	

令和7年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標